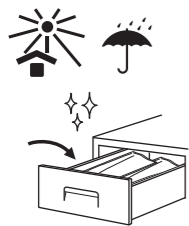
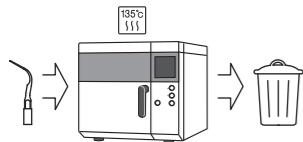




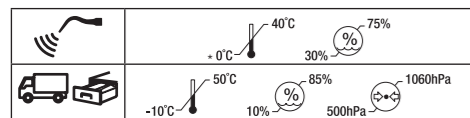
1



1



・廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。



* 注水液が凍結しないようにしてください。
上記範囲を超えて使用した場合、故障の恐れがあります。



類別:機械器具(62) 歯科用切削器
一般的名称:歯科用多目的超音波治療器
販売名:「メルサージュ エピック 2in1」の構成部品
販売名:「メルサージュ エピック S」の構成部品

スケーラーハンドピース用チップ

取扱説明書

安全にお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。

認証番号229ALBZX00017A01 (メルサージュ エピック 2in1)

認証番号223ALBZX00043A01 (メルサージュ エピック S)

OM-DZ0906JA 001

使用者: 歯科医師、歯科衛生士

使用目的: 歯垢もしくは歯石の除去、歯の切削、歯の根管の拡大、洗淨もしくは清掃、異物等の除去、歯周組織の切開もしくは除去。



「重度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています



「軽度の人身障害または物的損害が発生する可能性がある注意事項」を説明しています



使用環境/使用方法



ダイヤモンド電着チップ



ダイヤモンド電着チップでない/
ダイヤモンド電着チップを除く



指示された方向に動かす



指示された方向に完全に止まるまで動かす



不可能/不適切/誤り



可能/適切/正しい



聞く (カチツ、カチツ)



目視確認



温度



135℃までの温度でオートクレーブ可能



保護グローブの着用



マスクの着用



保護眼鏡の着用



照明



飲用水



高温注意



取扱説明書参照



温度範囲



湿度範囲



気圧範囲



輸送および保管環境



直射日光厳禁



湿気厳禁



警告

・本製品は株式会社松風製 超音波システム メルサージュ エピック用のチップです。それ以外のシステムで使用しないでください。
・本製品を使用する前に使用方法や機器の性能について接続する超音波システムの取扱説明書および添付文書をよくお読みください。

・必ず十分な注水下で使用してください。注水が不十分ですと患部の熱傷、機器の過熱の恐れがあります。

・チップは、必ず本取扱説明書またはチップケースに記載されている使用最大パワー以下で使用してください。使用最大パワーを超えて使用すると、チップが折れたり、歯面を傷付けるなどの恐れがあります。

・心臓ペースメーカーを使用している患者には使用しないでください。

・チップの表面の温度は冷却せずに使用した場合、58℃に達することがあります。必ず注水冷却しながら使用してください。
・他社製チップの使用により、振動不良、他社製チップの破損、スケーラーハンドピースのねじ部の破損または早期摩耗の恐れがあります。スケーラーハンドピースの損傷を含め、他社製チップの使用による不具合や事故は保証の対象外です。

・チップをチップ交換用レンチで「カチツ、カチツ」と空まわりするまで締め付けてもチップがゆるむ、または異音が生じたり振動が弱い場合は、チップ交換用レンチが消耗している可能性があります。チップ交換用レンチは消耗品ですので、使用開始から目安として1年に1度は交換してください。

販売元



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本社 ●〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

製造販売元

株式会社ナカニシ

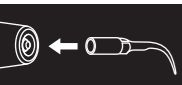
栃木県鹿沼市下日向700

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

2020.09.15 05 ヤ



本取扱説明書では、チップの取り付け、取り外しおよび再処理方法を説明しています。その他の手順については、超音波システムの取扱説明書をよくお読みください。

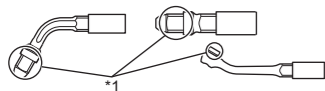


注意

- チップはスケーラーハンドピースに取り付ける根元部分を持ってください。チップの先端で手をケガしたり、チップが破損する恐れがあります。
- チップを取り付けるときは、滅菌されたグローブを付け、滅菌済みのチップ、スケーラーハンドピース、チップ交換用レンチを使用してください。
- チップを締め付ける際にスケーラーハンドピースコードがねじれないようにしてください。

注意

- Eチップ用レンチで強く締め過ぎると破損の恐れがあります。また、ゆる過ぎるとチップに振動が伝わらない恐れがあります。S-E9/S-E12/S-V10/S-V30にチップを取り付けるときに、チップ保持部のねじ(*)を強く締め過ぎないでください。破損の恐れがあります。また、洗浄および滅菌する前に、ねじを指で軽く締めてください。



警告

- 表2の取り付け長を守ってください。異なった取り付け長で装着すると振動の節が異なりファイルが破折しやすくなります。
- 必ず弊社製のファイルを使用してください。

注意

- へこみ部分(*)まで差し込まないと、適切な振動が得られません。

注意

- チップが硬い健全歯または補綴物などに触れますと破損の恐れがあります。
- 細いチップですので、強く押し当てて研削せずにフェザータッチで使用してください。



- 接続する超音波システムの取扱説明書を参照してパワーを設定してください。
 - 使用する超音波システムに従った各チップの使用最大パワーについては、本取扱説明書の表1またはチップケースを参照してください。
- 超音波システムのパワーを各モードの最低値に設定して、患者の状態を診ながら症例に応じて、少しずつパワーを上げてください。
 - 注水がチップ先端まで伝わるように水量を調整してください。

警告

- 作動中、超音波によりチップ全体が振動します。チップのどの部分も軟組織、歯肉、または皮膚に接触させないでください。注水液の使用に関係なく、振動するチップは火傷を引き起こす恐れがあります。

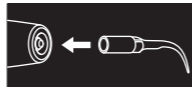
注意

- 使用中チップが振動していないと感じたら、患者の口腔内からスケーラーハンドピースを取り出して再度作動させてください。それでも状況が改善しない場合は、使用中にチップがゆるんだ可能性がありますので、正しいチップレンチを使用してチップの取り付けを確認してください。
- チップは必ず本取扱説明書またはチップケースに記載されている使用最大パワー以下で使用してください。



表1 - 推奨パワー設定

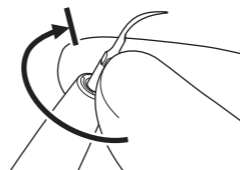
製品	モード	最大パワー
S-G0		G4
S-G6		G6
S-P1	(P)	P10
S-P20	(E)	E5
S-P40	(P)	P3
S-E4	(E)	E10
S-E9	(P)	P6
S-E12	(P)	P5
Uファイル #15	-	-
Uファイル #20	-	-
Uファイル #25	-	-
Uファイル #30	-	-
Uファイル #35	-	-
S-V10	-	-
S-V-P10	(P)	P6
S-V-P12	(P)	P4
S-V30	-	-
S-V-S50	-	E1
S-V-S51	-	E1
S-V-S52	(E)	E4
S-V-S53	-	E4
S-V-N50	-	E1
S-V-N51	(P)	P2
S-V-S51D	(E)	✓ E4
S-V-S52D	(E)	✓ E4
S-V-S53D	(E)	✓ E4



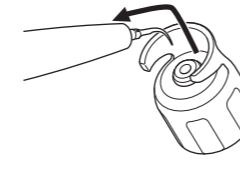
1

製品番号：9966052 チップ交換用レンチ (CR-10)

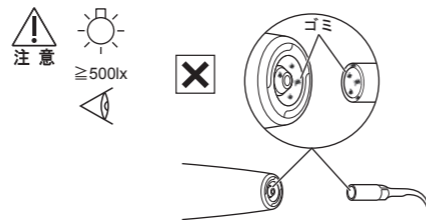
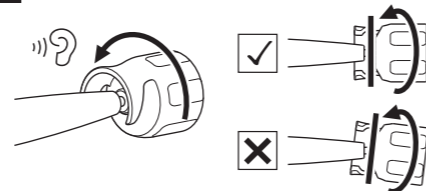
1



2

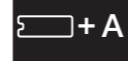


3



製品番号：9966053 Eチップ用レンチ

1



1

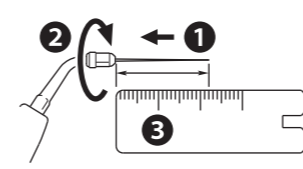
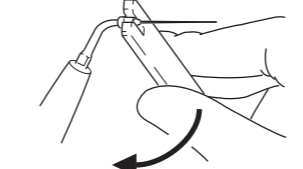


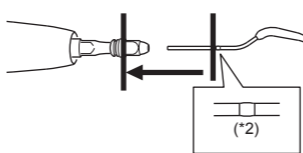
表2 - 取り付け長

	#15	#20	#25	#30	#35
S-E9	24-25mm	24-25mm	25-26mm	25-26mm	23-24mm
S-E12	22-23mm	22-23mm	25-26mm	25-26mm	22-23mm

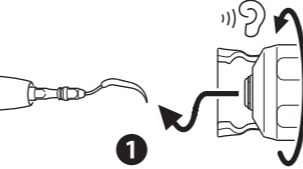
2



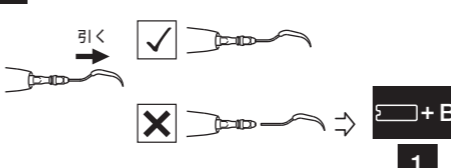
1



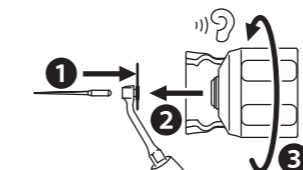
2



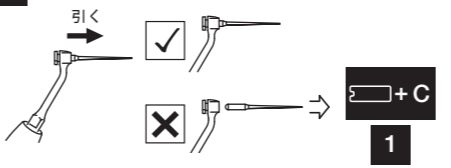
3



1



2



1

治療が完了しましたら必ずすぐに、本取扱説明書に従ってチップの洗浄、滅菌を行なってから保管してください。

警告

- チップは使用後すぐ(30分以内)に洗浄して残留物を取り除いてください。チップを適切に保守しない場合、感染、機器の故障、発熱による火傷の恐れがあります。

注意

- 酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、強酸、強アルカリ性の薬剤、塩素含有の溶液、ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄、浸漬、拭き取りを行なわないでください。
- 洗浄で乾燥した圧縮空気を使用してください。
- 洗浄後は製品を完全に乾燥させてください。水分が残っていると、内部が腐食するなどの恐れがあります。
- 薬液または溶剤が付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。滅菌器の中に薬液または溶剤が入らないように注意してください。
- 急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行なわないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- 乾燥工程を含め、135℃を超える滅菌器を使用しないでください。変形や劣化が生じます。滅菌器によって、乾燥工程で135℃を超える場合がありますので、詳しくは滅菌器の製造販売元に確認してください。
- 滅菌後すぐに(1時間以内)、滅菌器からチップおよびチップ交換用レンチを取り出してください。腐食の恐れがあります。

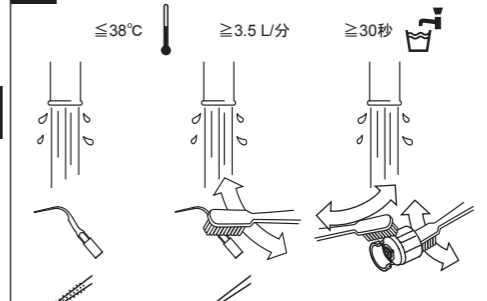
1



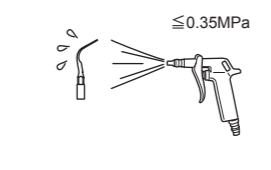
2



3



4



5

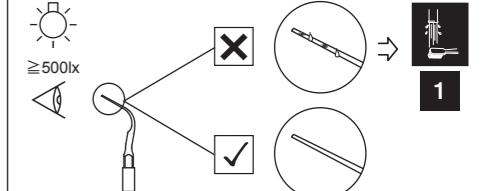


消毒剤またはエタノール(60～90%)を含ませた毛羽立たない布を使用して、チップの外側をきれいに拭きます。

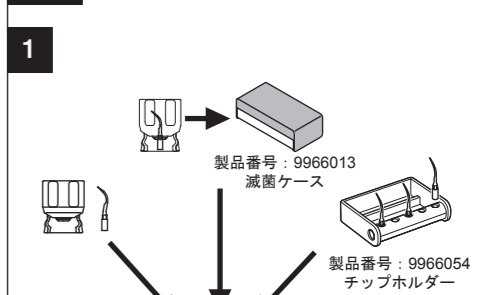
注意

- ダイヤモンド電着チップの場合、ダイヤモンド部分を強くこすらないでください。布の繊維がダイヤモンド部分に残る恐れがあります。

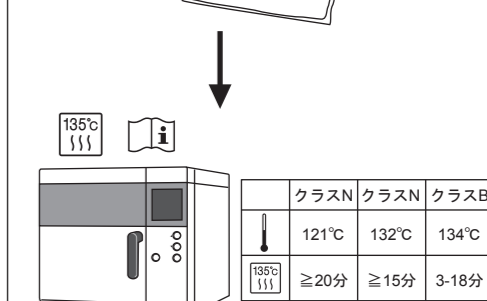
6



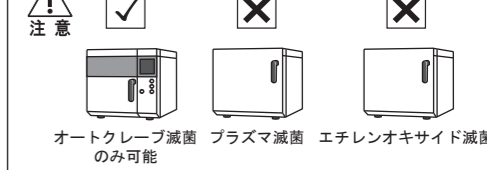
1



1



注意



注意

